

島根原子力発電所の運転状況(平成19年11月分)

中国電力担当分

【1号機】: 全期間原子炉定格熱出力一定運転を行った。

【2号機】: 全期間原子炉定格熱出力一定運転を行った。

1 運転保守状況(中電データ)

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	今月の設備利用率(%)	今月の発電電力量(万kWh)	12月20日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	101.9	33,747	計画停止中 (H19.12.5 ~) 第27回定期検査中	11/17 第27回定期検査に先立って実施していた燃料取替装置の点検時に燃料取替装置を移動していたところ、燃料つかみ部が燃料プールの手摺りに接触し変形する事象が発生した。原因調査を行った結果、以下が原因であるものと推定した。 作業員間で手摺りの取扱いに関する認識が共有されていなかった 工事要領書に手摺りの確認手順が明記されていなかった 作業員が装置移動の際に手摺りを含めた干渉物に関する周辺状況確認を怠っていた 対策として以下の項目を実施する。 a 工事要領書に以下のことを記載し実施する。 (a) 安全上の留意事項について、作業前ミーティングで確実に確認する (b) 燃料取替装置の運転開始または再開前に手摺りの取外し、取付けを含む周囲状況を確認する手順を追加する (c) 専任の監視人を配置し干渉物の確認を行う b. 安全のための要求事項について再教育を実施。 c. 燃料プールゲート手前で燃料取替装置が、一旦、自動停止するようプログラムを変更し、手摺り等の干渉物の有無について確認する。 当該部の詳細点検を行った結果、伸縮管のガイドローラフレームの一部および燃料つかみ部のシャフトに変形が確認されたことから、ガイドローラフレームについては、新品に取替えるとともに、シャフトについては同一仕様の2号機の燃料つかみ部を取外し交換した。(中国電力(株)公表済)
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	99.7	58,856	運転中 (H19.7.22 ~)	

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象
該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象
燃料取替装置の点検時に燃料取替装置を移動していたところ、燃料つかみ部が燃料プールの手摺りに接触し変形する事象が発生。

4 放射性固体廃棄物管理状況(中電データ)

	当月末保管量(前月比増減量)	当月発生量	当月処理量 ²	前月末保管量
ドラム缶保管量(本)	21,225(365)	365	0	20,860
その他の種類の保管量(本相当)	4,919(102)	19	121	5,021
合計	26,144(263) ¹	384	121	25,881

1 保管能力: 35,500本 2 処理方法: ドラム缶減容処理

5 使用済燃料貯蔵状況(中電データ) 11月末現在(単位: 体)

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	308	1,708	2,016
貯蔵全容量	1,140	3,518	4,658
容量管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分¹ + 1取替分²)

1: 1号機400体 2号機560体
2: 1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況(中電データ)

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

(単位: Bq)

	放射性気体廃棄物		放射性液体廃棄物	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素(I-131)	トリウムを除く	トリウム
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND ¹ (ND)	ND ² (ND)	ND ³ (ND)	3.3 × 10 ¹⁰ (5.8 × 10 ¹¹)
号機別 内 訳				
1号機	ND ¹	ND ²	ND ³	1.4 × 10 ¹⁰
2号機	ND ¹	ND ²	ND ³	1.9 × 10 ¹⁰
年間放出管理目標値	8.4 × 10 ¹⁴ ⁴	4.3 × 10 ¹⁰ ⁴	7.4 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹² ⁵
サイトバンカ建物	-	ND ²	-	-

1: 検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³ 以下
2: 検出限界値 約7 × 10⁹ Bq/cm³ 以下
3: 検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³ 以下
(⁶⁰Coで代表)
4: 年間放出管理目標値は、平成17年4月から見直された。
5: 年間放出管理の基準値を示す

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

(単位: cps)

		今月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値
		最小 ~ 平均 ~ 最大	最小 ~ 平均 ~ 最大	最小 ~ 平均 ~ 最大	最小 ~ 平均 ~ 最大	
排気筒モニタ	1号機	5.4 ~ 6.1 ~ 7.0	5.1 ~ 6.1 ~ 7.0	500 ⁶ (1,000 ⁷)	6: この状態が10時間続くとき 7: この状態になったとき	
	2号機	2.8 ~ 3.3 ~ 3.9	2.8 ~ 3.3 ~ 3.9	500 ⁶ (1,000 ⁷)		
放水路水モニタ	1号機	2.3 ~ 2.7 ~ 3.3	2.2 ~ 2.7 ~ 4.3	7 ⁶ (70 ⁷)		
	2号機	3.7 ~ 4.3 ~ 5.0	3.7 ~ 4.3 ~ 6.3	8 ⁶ (80 ⁷)		

7 モニタリングポストの測定結果(敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム)(中電データ、県データ)

(単位: nGy/h)

	敷地境界モニタリングポスト(中電管理分)							環境放射線情報システム(県管理分)										
								西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	22	25	31	23	29	27	平均値	51	41	40	27	40	35	30	34	36	38	44
最高値	41	39	52	44	62	51	最高値	71	58	65	50	66	50	48	48	57	56	68
月平均の変動幅	19 ~ 23	23 ~ 27	30 ~ 34	21 ~ 25	28 ~ 31	26 ~ 29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	105	106	112	114	118	192	127	100	111

上講武は8月より移設したため、参考値

担当: 島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室
電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930
中国電力(株) 島根原子力発電所 広報課
電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

- (1) 環境放射線及び温排水測定結果... 県が実施する調査結果と併せて「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。
- (2) 島根原子力情報伝送システムの伝送計画及び実績... 環境放射線情報システムやインターネットでリアルタイムで公表している発電所情報の伝送計画及び実績であり、長期欠測等については、その都度事前にインターネット等でお知らせしている。
- (3) 地震発生時の発電所の状況連絡... 震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。